

地域回覧用



小原中部小学校だより



令和7年10月2日

2025 第185号

文責 教頭 釜屋雄一

ぜひとも、学校
ホームページを
ご覧ください⇒



10/1 1年生のスピーチより

1年生の教室にある人気のカードゲーム「UNO」。頻繁に使われてきたその箱は、すっかりボロボロになっていました。そんな様子に気づいた児童が「このままではカードがなくなってしまうかも…」と問題意識をもち、おうちの方に相談。なんと、お父さんが3Dプリンターを使って、カードがぴったり収まる新しいケースを作ってくださいました。

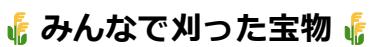


その児童が、完成したケースを教室に持参してきたので、急遽、学級のスピーチの時間を設定し、みんなに紹介しました。なぜ作ろうと思ったのか、どんなふうにお願いしたのか、そして完成したケースの工夫について、わかりやすく丁寧に伝えていました。

スピーチの中で、学級の仲間たちから「どうやってサイズを合わせたの？」「3Dプリンターって何？」「ほかにも作れるの？」など、たくさん質問が飛び交い、質疑応答の時間は大盛り上がり！身近な困りごとからアイデアを生み出し、家族と協力して形にする姿に、みんなが感心し、刺激を受ける時間となりました。

小さな気づきが、大きな学びにつながる。そんな瞬間が、教室の中で確かに育まれています。

10/1 稲の「はざかけ」



秋の深まりを待って、刈り取った稻。今、体育館まわりの屋根のあるスペースにて「はざかけ」をしています。地域の協力者のご尽力で、稻の向きや間隔に気を配りながら、ていねいに作業を進めていただきました。昔ながらの方法で、束ねた稻を竹の棒にかけて干すことで、太陽と風の力を借りてじっくりと乾燥させます。



稻の成長を見守り、収穫し、干すところまで、学校で体感することで、食の大切さや地域の知恵に触れることができます。はざに揺れる稻の束は、子どもたちの学びと成長の証です。
